

まちづくりプレイヤー発掘・育成支援事業業務委託  
公募型プロポーザル審査結果について

1 委託業務の名称

まちづくりプレイヤー発掘・育成支援事業業務委託

2 選定した委託予定事業者

株式会社ニューピース・Slow Innovation 株式会社・

特定非営利活動法人グリーンズ 共同事業体

(代表企業) 株式会社ニューピース 代表取締役社長 高木 新平

3 公募期間

令和3年4月27日から令和3年5月18日まで

4 審査委員会による審査の概要

(1) 審査委員名簿 (敬称略)

委員氏名	役職等
清水 久伸	敦賀市観光部長
山形 晃士郎	敦賀商工会議所青年部会長 ※敦賀商工会議所推薦
西山 綾加	地域おこし協力隊 ※(一社)敦賀観光協会推薦
阿部 俊二	タウンマネージャー ※港都つるが株式会社推薦
碓 望	NPO 法人 THAP 事務局長 ※NPO 法人 THAP 推薦

(2) 審査委員会の開催日

令和3年5月24日

(3) 審査基準

No	審査項目	審査基準	配点
1	敦賀市及び事業目的に対する理解度	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の現状、課題、事業目的を十分に理解し、仕様書の趣旨に沿った内容であるか。</li> </ul>	10
2	同種・類似業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去約5年間に個人や企業等が参画し、新たな魅力や価値を創造し、発信する業務の受注実績があるか。</li> <li>※共同事業体で提案する場合は、代表構成団体だけでなく、その他構成団体も含むものとする。</li> <li>プロモーションに関する業務実績や、本事業に類似する業務実績、ノウハウ、知識を有しているか。</li> </ul>	5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の受注業務においてその街に何が生まれたか。</li> <li>過去の受注業務における成果として、創出されたアイデアやプロジェクトが事業化され、かつ継続して実施されているか。</li> <li>参画した個人や企業等は継続して主体的な活動に取り組んでいるか。</li> </ul>	20
3	事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任者の位置付け、役割が明確であり、主体的に業務を遂行するために、適切な事業計画が組み立てられ、的確な人員・組織体制が整備されているか。</li> <li>参画した市民等、創出されたアイデア等に伴走できる体制であるか否か。</li> </ul>	15
4	業務内容に関する企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民等の興味・関心を高め、新たなまちづくりの担い手の発掘・育成に繋がる企画構成になっているか。</li> <li>ワークショップイベントの手法、プログラム構成等は目的の達成が期待できる内容となっているか。</li> <li>参画した市民等に主体的な活動が生まれ、創出されたアイデアやプロジェクトの事業化が期待できる内容となっているか、また、それらに継続性や発展性が見込まれるか否か。</li> </ul>	25
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の実施が新幹線開業のプロモーションとして効果的な広報につながる内容となっているか。</li> <li>作成するプロモーションツールは、業務により創出されたアイデア及びプロジェクトと関連するものとなり、かつ分かりやすいか否か。</li> </ul>	10
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>業務計画（実施フロー）の内容が具体的かつ実現可能か。</li> <li>その他業務について、具体的か。</li> </ul>	10
7	見積額	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案上限額以下か否か。</li> <li>適正かつ必要最低限度の見積額となっているか否か。</li> </ul>	5
合 計			100

## 5 参加者

まちづくりプレイヤー発掘・育成支援事業業務委託公募型プロポーザル募集要項に基づき3者が参加しました。

## 6 審査結果

審査結果は以下のとおりです。

### (1) 評点（順不同）

会社名	評点	平均点
A	412	82.4
B	399	79.8
C	391	78.2

- ・ 審査委員1人あたり100点満点
- ・ 平均点が60点以上、かつ、5人の評点合計が最も高い者を契約候補者として決定しました。

### (2) 審査講評

- ・ それぞれの事業者が三者三様のアプローチで、ターゲットの違いもあったことから、甲乙つけがたい提案内容であった。
- ・ 各事業者の提案全体を通して、誰をどこからどうやって集めるかというところがポイントであると考えられるが、その部分が提案の中ではよく見えなかったもので、少し物足りない印象であった。
- ・ 各事業者面白い提案だったが、プレイヤーの育成とその支援はもちろんのこと、いかにして敦賀の特性を見ながら、人を集めてどんな方向に育てるか、というところが提案として弱かった。
- ・ 委託予定事業者の提案はその中でもより敦賀の状況を踏まえたものであったという点が優位に評価された。
- ・ 本市での事業実施が初年度であることから、地元が取り残されることなく、より広いところからプレイヤーを集め、地元みんなで盛り上げるという内容が強かった委託予定事業者の提案が高く評価された。
- ・ 関わる人達が、やりたいことをして盛り上げていくことが本来のまちづくりであり、プレイヤーに注目が集まる中で今活動するプレイヤーに負担を強いることとなっては本末転倒である。
- ・ 継続性という観点が非常に重要であり、集まったプレイヤーの想いを尊重しながら、そのメンバーでどのように継続していくのか、敦賀市と委託予定事業者が協力しながら、本事業をきっかけに自発的にまちづくりに関われるプレイヤーが生まれることを期待する。

7 担当部署 敦賀市観光部新幹線誘客課  
〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号  
TEL 0770-22-8241